

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 1 2 号
件 名	予防接種健康被害救済制度において認定された新型コロナワクチン接種後の疾病、障がい等を新潟市ホームページに掲載することを求めることについて
要 旨	<p>厚生労働省疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会において、新型コロナウイルス接種後の健康被害について、11月24日までに1,228件が因果関係の認定を受けました。その認定を受けた疾病、障がいについては、直近の10月、11月だけで下記のとおり相当な数に上り、年齢層も10歳代から90歳代まで広範囲に及びます。認定のうち死亡は10件となっています。</p> <p>「死亡一時金、葬祭料」の認定 免疫性血小板減少症の疑い、脳静脈洞血栓症、くも膜下出血、左前大脳動脈瘤、右後下小脳動脈瘤、心筋梗塞、脳梗塞、心房細動、脳出血、急性心不全</p> <p>「医療費、医療手当」の認定 けいれん重積状態、間質性肺炎急性憎悪、腰背部痛、上半身不随意運動、左側有痛性強直性けいれん、便潜血陽性、両膝関節痛、四肢発疹、房室ブロックの悪化、免疫性血小板減少症の疑い、脳静脈洞血栓症、アナフィラキシー、急性アレルギー反応、アナフィラキシー様症状、発熱、嘔気、脱水、頭痛、目まい、ふらつき、手足のしびれ、頭部違和感、蕁麻疹、嘔吐、左腋窩痛、胸痛、リンパ節炎、意識障害、けいれん、呼吸困難、四肢のしびれ、高血圧性緊急症、両上肢しびれ、悪寒、疼痛、過換気症候群、動悸、しびれ、食事摂取不良、脱水症、体動困難、左肩関節腱板炎、左肩関節周囲炎、せき喘息、胸部不快感、倦怠感、左顔面神経麻痺、一過性意識障害、</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	令和4年12月14日 市民厚生常任委員会
受 理	令和4年12月2日 第468号

急性心筋炎、急性心膜炎、急性肝炎、気分不良、左半身しびれ、関節痛、左三角筋筋痛、脱力、食欲低下、一過性意識レベル低下、腹痛、失禁、会話困難、咳嗽、気管支喘息発作、一過性高血圧、NSAIDs 十二指腸潰瘍疑い、下痢、多形紅斑、立ちくらみ、右顔面神経麻痺、薬疹、四肢紅斑、左上肢末梢神経障害、一過性意識消失、左下肢けいれん、炎症反応上昇、左手掌のしびれ、背部痛、項部硬直、血中酸素分圧低下、左三角筋炎、左上腕蜂巣炎、左上腕皮膚陥没、全身蕁麻疹、肝機能障害、結節性紅斑疑い、B型肝炎ウイルス活性化疑い、多発性リンパ節炎、食思不振、右上腫脹、せき、たん、アトピー性皮膚炎の憎悪、両上下肢しびれ感、握力低下、片頭痛、閃輝暗点、左胸背部の帯状疱疹、神経障害性疼痛、急性心筋心膜炎、急性筋障害、眼瞼下垂、下肢脱力、腓酵素上昇、浮腫状紅斑、顔面帯状疱疹、不眠症、血管迷走神経反射、過換気症候群疑い、ギランバレー症候群、両下肢多型紅斑、右肩関節腫脹、右肩関節疼痛、右手指しびれ、光・音過敏、幻覚、ほてり、左上肢腫脹、貧血、中垂炎疑い、咽頭痛、胸部圧迫感、左上肢発赤、左上肢の疼痛、左上肢のしびれ、頸部の皮疹、顔面、頸部のしびれ、上腹部不快感、急性汎発性発疹性膿胞疹、肝障害、眼瞼結膜充血、胸部不快感、四肢脱力、上腹部痛、体熱感、不安神経症の憎悪、右側胸部痛、片頭痛発作、結節性紅斑、血便、SLE 憎悪疑い、IgA血管炎、帯状疱疹、前胸部痛、全身倦怠感、頭重感、多形滲出性紅斑、気分不良、全身脱力、リンパ節腫脹、帯状疱疹後神経痛、中毒疹、左上肢疼痛、左手指しびれ、手足のしびれ、低カリウム血症、アフタ性口内炎、口角炎、上唇皮膚炎、急性鼻炎、耳閉感、上肢脱力、血小板減少性紫斑病、上肢不随意運動、血圧上昇、不眠、急性心筋炎疑い、全身関節痛、左腋窩リンパ節腫脹、目まい症（メニエール病憎悪）、筋肉痛

このように、国が認定した新型コロナワクチン接種後の健康被害、いわゆる副反応の状況については、厚生労働省のホームページに掲載されておりますが、大変分かりづらい箇所があり、市民がそれを見つけることは困難と言えます。しかし、新型コロナワクチン接種後の予防接種健康被害救済制度の申請件数は増加の一途をたどっており、11月24日までの申請数は5,000件を超えています。よって、市民の中にも同様の症状で苦しんでいる人がいる可能性があります。予防接種健康被害救済制度によってどのような疾病、障がい認定されているのか知っている人はほとんどいないと思われま

(次頁につづく)

新潟市は、新型コロナワクチン接種については高い有効性に対し、軽い副反応の頻度だとして積極的に推進していますが、予防接種健康被害救済制度によって認定された死亡を含めた疾病、障がい、及びその件数から見て、そのような方針は転換すべきです。ましてや、乳幼児、小児への接種はなおさらです。

そして、新潟市は予防接種健康被害救済制度によってどのような疾病、障がいが認定されているかを、新潟市ホームページにて市民に分かりやすく掲載すべきです。既に認定された疾病、障がいと同様な症状にて体調を崩し、身体的にも経済的にもつらい思いをしている人がいるのではないかと懸念します。新潟市は、新型コロナワクチン接種を推進している以上、そのような人を救済する義務と責任があると考えます。

つきましては、新潟市ホームページに、新型コロナワクチン接種後に発生した疾病、障がいについて、予防接種健康被害救済制度にて認定を受けたその疾病・障がい名及びその件数の全国の状況を市民が理解できるように分かりやすく掲載し、その内容を随時更新すること。そして、そのページについて、新潟市ホームページのトップ画面から遷移できるようバナーを設定することを求め陳情いたします。